神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	Creaters IT	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	ダンス＆アクターズ科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】
ミュージシャン、ダンサーが活動していく上で必要なITスキル、またマーケティング思考

【実務者経験】
2005年ビクターエンターテーメントよりメジャーデビュー、2007年より音楽制作所「GLOBAL SKILLS」を起業。数々のアーティストのプロデュース、楽曲制作、編曲を手がける。現在はアニメ、ゲーム業界を中心に活動中。

【到達目標】
様々なアプリケーションを使用するので、7割は使えるように目指す。そして自分にとって一番有益だと感じたアプリにおいてはプロフェッショナルを目指す。

授業計画・内容	
1週目	オリエンテーリングとニーズの抽出
2週目	SNSプロモーション①
3週目	SNSプロモーション②
4週目	SNSプロモーション③
5週目	SNSブランディングの結果考察と課題の抽出
6週目	iMOVIE等を使用した動画スキル①
7週目	iMOVIE等を使用した動画スキル②
8週目	iMOVIE等を使用した動画スキル③
9週目	動画アワード
10週目	YOUTUBEプロモーション①
11週目	YOUTUBEプロモーション②
12週目	YOUTUBEプロモーション③
13週目	オーディション対策①
14週目	オーディション対策②
15週目	振り返り
準備学習 時間外学習	積極的に授業で使用したアプリケーションを使用してみる。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	今もとめられるのはスピード感とセルフプロモーション力です。自分でできる最大限のスキルを身につけていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	Creaters IT	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	ダンス＆アクターズ科昼間I部・II部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】
ミュージシャン、ダンサーが活動していく上で必要なITスキル、またマーケティング思考

【実務者経験】
2005年ビクターエンターテーメントよりメジャーデビュー、2007年より音楽制作所「GLOBAL SKILLS」を起業。数々のアーティストのプロデュース、楽曲制作、編曲を手がける。現在はアニメ、ゲーム業界を中心に活動中。

【到達目標】
様々なアプリケーションを使用するので、7割は使えるように目指す。そして自分にとって一番有益だと感じたアプリにおいてはプロフェッショナルを目指す。

授業計画・内容	
1週目	前期の振り返りと後期の目標
2週目	Garage Bandを使用した曲のデモ作り①
3週目	Garage Bandを使用した曲のデモ作り②
4週目	Garage Bandを使用した曲のデモ作り③
5週目	コンペティションの勝ち方①
6週目	コンペティションの勝ち方②
7週目	コンペティションアワード
8週目	DAW講座
9週目	CUBASEの使用方法①
10週目	CUBASEの使用方法②
11週目	CUBASEの使用方法③
12週目	MIX講座①
13週目	MIX講座②
14週目	必要な機材についての基礎知識
15週目	振り返り
準備学習時間外学習	積極的に授業で使用したアプリケーションを使用してみる。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	今もとめられるのはスピード感とセルフプロモーション力です。自分でできる最大限のスキルを身につけていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	ET1(Ear training 1)	必修選択	必修	年次	1,2年次	担当教員	
学科・コース	ダンス＆アクターズ科昼間I部・II部	授業形態	講義	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】
シンプルなダイアトニック・メロディー、リズム、2度と3度のインターバル、メジャー・トライアドとマイナー・トライアドなどの聴き取りや視唱を行い音感を養う。

【実務者経験】
'03年甲陽音楽学院ジャズピアノ科を首席で卒業。バークリー音楽大学主催ワールドスカラーシップツアーにて奨学金を獲得し'04年留学。初年度から卒業まで毎年、成績上位者リストであるDean's Listに掲載される。'06年同大学を首席で卒業。Jazz、Fusion、Latin、Funk、Gospelなど幅広いジャンルをこなし、特にリハーモニゼーションやコードの組み立てに定評がある。

【到達目標】
音を音名として認識する第一歩。音名を認識しそれを楽譜としてもかけるようになる事。

授業計画・内容	
1週目	▼メロディー：Do，Re ▼リズム：4分音符まで
2週目	▼メロディー：Do，Ti ▼リズム：4分音符まで
3週目	▼メロディー：Ti，Do，Re（音跳びなし・あり） ▼リズム：4分音符まで ▼インターバル練習：Major 2nd（長二度）／Minor 2nd（短二度）
4週目	▼メロディー：[Ti]，Do，Re，Mi（音跳びなし・あり） ▼リズム：4分休符 ▼インターバル練習：Major 2nd（長二度）／Minor 2nd（短二度）
5週目	▼メロディー：[Ti]，Do，Re，Mi，Fa（音跳びなし・あり） ▼リズム：4分休符 ▼インターバル練習：Major 3rd（長三度）／Minor 3rd（短三度）
6週目	▼メロディー：[Ti]，Do，Re，Mi，Fa（音跳びあり） ▼リズム：4分音符／4分休符 ▼インターバル練習：Major 3rd（長三度）／Minor 3rd（短三度）
7週目	▼メロディー：[Ti]，Do，Re，Mi，Fa，So（音跳びなし） ▼リズム：8分音符 ▼コード練習：Major Triad（長三和音）／Minor Triad（短三和音）＜基本形＞
8週目	▼メロディー：[Ti]，Do，Re，Mi，Fa，So（音跳びあり） ▼リズム：8分音符 ▼コード練習：Major Triad（長三和音）／Minor Triad（短三和音）＜基本形＞
9週目	▼メロディー：[Ti]，Do，Re，Mi，Fa，So，La（音跳びなし） ▼リズム：8分音符 ▼インターバル練習：2音・3音（復習）
10週目	▼メロディー：[Ti]，Do，Re，Mi，Fa，So，La（音跳びあり） ▼リズム：8分音符／8分休符 ▼インターバル練習：2音・3音（復習）
11週目	▼メロディー：[Ti]，Do，Re，Mi，Fa，So，La（音跳びなし） ▼リズム：8分音符／8分休符 ▼コード練習：Major Triad（長三和音）／Minor Triad（短三和音）＜基本形＞
12週目	▼メロディー：[La，Ti]，Do，Re，Mi，Fa，So，La，Ti（音跳びあり） ▼リズム：8分音符／8分休符 ▼インターバル練習：Major 2nd（長二度）／Minor 2nd（短二度）
13週目	▼メロディー：Do，Re，Mi，Fa，So，La，Ti，Do ▼リズム：8分音符・8分休符 ▼インターバル練習：Major 2nd（長二度）／Minor 2nd（短二度） ▼コード練習：Major Triad（長三和音）／Minor Triad（短三和音）＜基本形＞第1転回形・第2転回形
14週目	授業内試験
15週目	まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	毎回の授業での経験の積み重ねが最も重要。頑張りましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	ET2(Ear training 2)	必修選択	必修	年次	1,2年次	担当教員	
学科・コース	ダンス＆アクターズ科昼間I部・II部	授業形態	講義	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】
少し複雑なダイアトニックメロディー、リズム、5度までのインターバル、すべてのトライアドの聴き取りや視唱を行い、音感を磨いていく。

【実務者経験】
'03年甲陽音楽学院ジャズピアノ科を首席で卒業。バークリー音楽大学主催ワールドスカラーシップツアーにて奨学金を獲得し'04年留学。初年度から卒業まで毎年、成績上位者リストであるDean's Listに掲載される。'06年同大学を首席で卒業。Jazz、Fusion、Latin、Funk、Gospelなど幅広いジャンルをこなし、特にリハーモニゼーションやコードの組み立てに定評がある。

【到達目標】
音名を認識しそれを楽譜としてもかけるようになる事。

授業計画・内容	
1週目	▼メロディー Do,Re,Ti,Re,Do ▼リズム ▼インターバル m3,M2,m2
2週目	▼メロディー Do,Re,Mi,Re,Ti,Re,Do ▼リズム ▼コード：Triad（Major, Minor）＜基本形と転回形＞
3週目	▼メロディー Do,Re,Mi,Fa,Ti,Re,Do ▼リズム ▼インターバル M2,M3,P4,m2 −5
4週目	▼メロディー Do,Mi,Sol,Fa,Mi,Do,Ti,Re,Do ▼リズム ▼コード：7th Chord（Major 7th, Minor 7th）＜基本形と転回形＞
5週目	▼メロディー Do,Re,Mi,Fa,So,La,Ti,Do ▼リズム ▼インターバル m2,M2,M3,m3,P4,P5,M6
6週目	▼メロディー Do,Re,Mi,Fa,Sol,La,Ti,Do,Do,Sol,Mi,Fa,Re,Ti,Do ▼リズム ▼コード：Major 7th Chord＜Major 7thコードの転回形＞
7週目	▼メロディー Do,So,La,So,Do,Fa,Mi,Re,Do ▼リズム ▼インターバル m3,M2,m2
8週目	▼メロディー Do,So,La,Ti,Do,Sol,Fa,Re,Do ▼リズム ▼コード：Dominant 7th Chord＜Dominant 7thコードの転回形＞
9週目	▼メロディー Do,Re,Do,La,So,Fa,Mi,Ti,Do ▼リズム ▼インターバル m6,M6
10週目	▼メロディー 今まで習った内容から ▼メロディー／マイナー Do,Re,Me,Fa,Me,Re,Do ▼リズム ▼コード：Major 7th Chord＜Minor 7thコード＞
11週目	▼メロディー 今まで習った内容から ▼メロディー／マイナー Do,Re,Me,Fa,Sol,Le,Te,Do,Te,Le,Sol,Fa,Me,Re,Do ▼リズム ▼インターバル m2,M7,m3,M6,M3,m6,P4,m7
12週目	▼メロディー 今まで習った内容から ▼メロディー／マイナー Do,Me,Do,Sol,Fa,Sol,Le,Te,Do,Sol,Me,Te,Do ▼リズム ▼コード：今までに学習したコード
13週目	▼メロディー 今まで習った内容から ▼メロディー／マイナー 今まで習った内容から ▼リズム ▼インターバル m6,M2,m3,m7,M3
14週目	授業内試験
15週目	まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	毎回の授業での経験の積み重ねが最も重要。頑張りましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	JAZZ HIPHOP（JAZZ HIPHOP）	必修選択	選択	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	ダンス＆アクターズ科・昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	実演	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】
エクササイズ→ストレッチ→授業計画に沿った演習→コンビネーション。

【実務者経験】
安室奈美恵、KIRAなどのバックダンサーやPV出演をはじめ、USJ ONE PIECE プレミアショー 出演およびプロデュースを担当している。

【到達目標】
授業取得後それぞれまた新たな目標を持ってセカンドステージに進めることを目指す。

授業計画・内容	
1週目	イントロデュース
2週目	基礎Ⅰ（ピケターン.アイソレーション）
3週目	基礎II（ピルエットターン.アイソレーション）
4週目	基礎Ⅲ（シェネターン.アイソレーション）
5週目	応用Ⅰ（コンビネーションターン.アイソレーション鎖骨）
6週目	応用Ⅱ（コンビネーションターン.アイソレーション鎖骨）
7週目	応用Ⅲ（ターンまとめ.アイソレーションまとめ）
8週目	現場演習Ⅰ（テーマパーク）
9週目	現場演習Ⅱ（バックダンサー）
10週目	創作演習Ⅰ（作品づくりに必要な知識）
11週目	創作演習Ⅱ（テーマパーク.バックダンサー）
12週目	創作演習Ⅲ（自主制作）
13週目	まとめ
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習時間外学習	授業で習ったことを持ち帰って1週間練習して、次の授業に取り組んでください。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	僕が経験してきたことを伝えます。学生諸君は自分のフィルターを通し解釈してそれぞれの目標に活かせて貰えれば嬉しいです。

【使用教科書・教材・参考書】
運動靴

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	JAZZ HIPHOP（JAZZ HIPHOP）	必修選択	選択	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	ダンス＆アクターズ科・昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	実演	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】
エクササイズ→ストレッチ→授業計画に沿った演習→コンビネーション。

【実務者経験】
安室奈美恵、KIRAなどのバックダンサーやPV出演をはじめ、USJ ONE PIECE プレミアショー 出演およびプロデュースを担当している。

【到達目標】
授業取得後それぞれまた新たな目標を持ってセカンドステージに進めることを目指す。

授業計画・内容	
1週目	イントロデュース
2週目	基礎Ⅰ（ターン.アイソレーション）
3週目	応用Ⅰ（コンビネーションターン.アイソレーション、リズム）
4週目	応用Ⅱ（コンビネーションターン.アイソレーション、リズム）
5週目	フロアワーク、ジャンプ系
6週目	フロアワーク、ジャンプ系
7週目	現場演習Ⅰ（テーマパーク）
8週目	現場演習Ⅱ（バックダンサー）
9週目	現場演習Ⅲ（バックダンサー）
10週目	創作演習Ⅰ（作品づくりに必要な知識）
11週目	創作演習Ⅱ（テーマパーク.バックダンサー）
12週目	創作演習Ⅲ（自主制作）
13週目	まとめ
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	授業で習ったことを持ち帰って1週間練習して、次の授業に取り組んでください。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	僕が経験してきたことを伝えます。学生諸君は自分のフィルターを通し解釈してそれぞれの目標に活かせて

【使用教科書・教材・参考書】
運動靴

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	MT1(Music Theory 1)	必修選択	必修	年次	1,2年次	担当教員	
学科・コース	ダンス＆アクターズ科昼間I部・II部	授業形態	講義	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】
音楽理論の勉強を進めていく上で必要な音楽の基礎知識を習得する。

【実務者経験】
大学を卒業後、甲陽音楽学院に入学。ピアノをフィリップストレンジ氏に、理論・アレンジを荒崎英一郎氏に師事。その後、25歳からポップス・ジャズ・フュージョンなどでプロとしての音楽活動に入る。ライブハウス・スタジオでの演奏活動に加え、TVでの録音やテーマパークの楽曲アレンジ制作などの分野で活躍中。MIDI検定１級所持。

【到達目標】
ハーモニーの学習を進めてゆくために必要な基本的な知識（ダイアトニックスケール、調号、調関係、インターバル、三和音、四和音など）を学び、身につける。

授業計画・内容	
1週目	ダイアトニック・スケール（メジャー・スケールとマイナー・スケール）
2週目	ダイアトニック・スケール（メジャー・スケールとマイナー・スケール）
3週目	調号、五度圏、調関係
4週目	調号、五度圏、調関係
5週目	インターバル（度数）
6週目	インターバル（インターバルを特定する名称）
7週目	インターバルの読み書き練習
8週目	インターバルの転回、単音程と複音程
9週目	インターバルのまとめと演習
10週目	コードとコードネーム（トライアド）
11週目	コードとコードネーム（セブンス・コード）
12週目	コードとコードネーム（その他のコードと転回形）
13週目	コードとコードネーム（その他のコードと転回形）
14週目	授業内試験
15週目	まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	基礎とは言え、中身がとても濃い授業で覚える事がたくさんあり今後役に立つことばかりで楽しいです。コツコツ休まず頑張る事が一番重要です。頑張ろう！

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	MT1(Music Theory 1)	必修選択	必修	年次	1,2年次	担当教員	
学科・コース	ダンス＆アクターズ科昼間I部・II部	授業形態	講義	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】
作曲やアドリブを考えて行えるようになる為の第一歩となる知識の習得。

【実務者経験】
大学を卒業後、甲陽音楽学院に入学。ピアノをフィリップストレンジ氏に、理論・アレンジを荒崎英一郎氏に師事。その後、25歳からポップス・ジャズ・フュージョンなどでプロとしての音楽活動に入る。ライブハウス・スタジオでの演奏活動に加え、TVでの録音やテーマパークの楽曲アレンジ制作などの分野で活躍中。MIDI検定１級所持。

【到達目標】
ダイアトニックハーモニーを中心としたコードプログレッションの基本を学び、アナライズの方法やコードスケールを学び、知識を身につける。

授業計画・内容	
1週目	メジャーのダイアトニックコード
2週目	メジャーのダイアトニックコード
3週目	コードスケール
4週目	コードスケール
5週目	ケーデンス、ドミナントレゾリューション、セカンダリードミナント
6週目	ケーデンス、ドミナントレゾリューション、セカンダリードミナント
7週目	Ⅱ－Ⅴ、リレイテッドⅠim7、ディセプティブレゾリューション
8週目	Ⅱ－Ⅴ、リレイテッドⅠim7、ディセプティブレゾリューション、ハーモニックリズム
9週目	Ⅱ－Ⅴ、リレイテッドⅠim7、ディセプティブレゾリューション
10週目	マイナーのダイアトニックコード
11週目	マイナーのダイアトニックコード
12週目	ブルース
13週目	ボイスリーディング
14週目	授業内試験
15週目	まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	休まないように！一緒に頑張っていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	TAP（TAP）	必修選択	選択	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	ダンス＆アクターズ科 ・ 昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	実演	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】
タップダンスの用語や技法を習得。
タップダンスの基礎ステップ、リズム取り、踊り方を学ぶ。

【実務者経験】
1995年よりタップダンス,ジャズダンス,クラシックバレエを学ぶ。その頃からダンス関係の舞台やイベントに多数出演。
2012年、New Yorkに短期留学。一流ダンサーのもとで、タップダンス,ジャズダンス等、様々なダンスを学ぶ。
2013年から、三宮・Basement Studioにて、FunkTapを学び始め、FunkTapDay,関西タップフェスティバル、出演。
現在、タップダンスインストラクターとして活動中。

【到達目標】

リズム感を養いながら、身体全体を使って踊れるようになる。

授業計画・内容	
1週目	ウォーミングアップ，基礎ステップ1
2週目	ウォーミングアップ，基礎ステップ2
3週目	クランプロール
4週目	シャッフル1
5週目	シャッフル2
6週目	パドルロール1
7週目	パドルロール2
8週目	スラップ1
9週目	スラップ2
10週目	タイムステップ1
11週目	タイムステップ2
12週目	ワークショップ
13週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	基礎が全てです。 思い通りいかないこともあるかもしれませんが 根気強くマイペースに、学んでもらいたいと思います。

【使用教科書・教材・参考書】
なし

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	TAP（TAP）	必修選択	選択	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	ダンス＆アクターズ科・昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	実演	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】
タップダンスの基礎ステップ、リズム取り、踊り方を学ぶ。

【実務者経験】
1995年よりタップダンス,ジャズダンス,クラシックバレエを学ぶ。その頃からダンス関係の舞台やイベントに多数出演。
2012年、New Yorkに短期留学。一流ダンサーのもとで、タップダンス,ジャズダンス等、様々なダンスを学ぶ。
2013年から、三宮・Basement Studioにて、FunkTapを学び始め、FunkTapDay,関西タップフェスティバル、出演。
現在、タップダンスインストラクターとして活動中。

【到達目標】
タップダンスの用語や技法を習得。
リズム感を養いながら、身体全体を使って踊れるようになる。

授業計画・内容	
1週目	ウォーミングアップ、基礎ステップ3
2週目	ウォーミングアップ、基礎ステップ4
3週目	クランプロール2
4週目	シャッフル3
5週目	シャッフル4
6週目	パドルロール3
7週目	パドルロール4
8週目	スラップ3
9週目	スラップ4
10週目	タイムステップ3
11週目	タイムステップ4
12週目	プルバック3
13週目	プルバック4
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ

準備学習時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	基礎が全てです。思い通りいかないこともあるかもしれませんが、根気強くマイペースに、学んでもらいたいと思います。

【使用教科書・教材・参考書】
なし

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	VO&ダンス（vocal&dance）	必修選択	選択	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	ダンス＆アクターズ科・昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	実演	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】
ストレッチ、アイソレーション、リズムトレーニング

【実務者経験】
dance studio MINT インストラクター
グンゼスポーツ　インストラクター　　たこやきレインボー　ダンスアシスタント

【到達目標】
ダンスの基礎力を上げる

授業計画・内容	
1週目	基礎メイン
2週目	基礎メイン
3週目	基礎メイン
4週目	基礎メイン
5週目	基礎メイン
6週目	基礎＋振付
7週目	基礎＋振付
8週目	基礎＋振付
9週目	基礎＋振付
10週目	基礎＋振付
11週目	基礎＋難易度上げた振付
12週目	基礎＋難易度上げた振付
13週目	基礎＋難易度上げた振付
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	復習
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	体力作りからしっかりやっていきましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	VO&ダンス（vocal&dance）	必修選択	選択	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	ダンス＆アクターズ科・昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	実演	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】
ストレッチ、アイソレーション、リズムトレーニング、振付

【実務者経験】
dance studio MINT インストラクター
グンゼスポーツ　インストラクター　　たこやきレインボー　ダンスアシスタント

【到達目標】
基礎力アップと技術習得

授業計画・内容	
1週目	基礎＋振付（4週に渡って）
2週目	基礎＋振付（4週に渡って）
3週目	基礎＋振付（4週に渡って）
4週目	基礎＋振付（4週に渡って）
5週目	基礎＋難易度上げた振付（4週に渡って）
6週目	基礎＋難易度上げた振付（4週に渡って）
7週目	基礎＋難易度上げた振付（4週に渡って）
8週目	基礎＋難易度上げた振付（4週に渡って）
9週目	基礎＋振付＋構成
10週目	基礎＋振付＋構成
11週目	基礎＋振付＋構成
12週目	基礎＋振付＋構成
13週目	基礎＋振付＋構成
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	復習
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	長い振付にも挑戦していきましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	アフレコ演習A（After recording A）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	ダンス＆アクターズ科 ・ 昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	実演	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】
演習Aにおいては、自分自身の声を見つめ、発声練習や、滑舌練習などを行い、自分自身の声の表現の幅を広げていく。
また、キャラクターの感情を獲得するには、事前にどのような準備が必要なのかを考えていく。

【実務者経験】
大学在学中に劇団を立ち上げ、以降18年に渡り、90本以上の舞台作品に関わる。その傍ら、後進の指導に携わる。
声優にとっての、「声だけで表現する演技」を中心に、スタジオの用語、マナーなどを伝える。

【到達目標】
自分の「声」の性質を知り、その「声」を使って様々な作品の様々なキャラクターを演じようと思う気持ちを育む。
また、収録においては、事前の準備をし、万全の体調、万全の精神で挑めるような、健全な身体になる。

授業計画・内容	
1週目	年間ガイダンス_授業の方針、手段、到達点を述べます。
2週目	声を出す_複式呼吸、滑舌練習など行います。
3週目	文章を読む①-1_詩、台詞などを読みます。
4週目	収録練習_収録前の練習を行います。
5週目	文章を読む①-2_詩、台詞などを読みます。
6週目	文章を読む②-1_ニュース原稿など、様々な文章を読んでいきます。
7週目	収録練習_収録前の練習を行います。
8週目	文章を読む②-2_ニュース原稿など、様々な文章を読んでいきます。
9週目	収録練習_収録前の練習を行います。
10週目	文章を読む③-1_作品に出てきそうな文章を読みます。
11週目	文章を読む③-2_作品に出てきそうな文章を読みます。
12週目	テスト_収録前の練習を行います。
13週目	前期の振り返り
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	その日行う課題（例えば、発声練習）は、授業のときだけするためには行っていません。授業の中には、「やり続ける」課題が、いっぱいあります。（例えば、万全な体調、滑舌練習など）それらを、いつも行うようにしてください。 そして、授業の日にも行いましょう。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	1回の授業で「とてつもない」ことを成し遂げようとするのではなく、小さなことの積み重ねでしか、「とてつもない」ことは起こらないと思っててください。 上手にしようと考えなくて大丈夫です。何かが出来るために、何をするのかを一緒に考えていきたいと思います。

【使用教科書・教材・参考書】
発声練習・1回目の授業で配布。
それ以降のテキストは、授業ごとに随時配布。

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	アフレコ演習A (After recording A)	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	ダンス＆アクターズ科 ・ 昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	実演	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】
後期においては、学生自身に自発的に作品を選んでもらい、自分達で準備を行っていく。
2～4週に1度は収録を行い。プレイバックを行うことで、次へのフィードバックを生み、さらに表現の幅を広げていく。
年度の終盤には1年間の成果作品を制作していく。

【実務者経験】
大学在学中に劇団を立ち上げ、以降18年に渡り、90本以上の舞台作品に関わる。その傍ら、後進の指導に携わる。
声優にとっての、「声だけで表現する演技」を中心に、スタジオの用語、マナーなどを伝える。

【到達目標】
前期の授業を踏まえ、「声」だけの表現だからこそ、「声」だけを使うことのないよう、スタニスラフスキーのメソッドを中心に自分のキャラクターの与えられた環境を考える。様々な感情を自分の「声」を使って演じようと思う気持ちを育む。

授業計画・内容	
1週目	前期の復讐①_発声練習、声の要素_会話の教養
2週目	文章を読む④-1_ラジオドラマを扱う。（与えられた環境を考える）
3週目	文章を読む④-2_ラジオドラマを扱う。（読み合わせ練習）
4週目	文章を読む④-2_ラジオドラマを扱う。（収録・フィードバック）
5週目	文章を読む④-1_ラジオドラマ（長編）を扱う。（与えられた環境を考える）
6週目	文章を読む④-2_ラジオドラマ（長編）を扱う。（読み合わせ練習）
7週目	文章を読む④-2_ラジオドラマ（長編）を扱う。（収録・フィードバック）
8週目	年間成果作品作業（作品選定）（台本作成）
9週目	年間成果作品作業（台本作成）（配役・練習）
10週目	年間成果作品作業（練習・リハーサル）
11週目	年間成果作品作業（収録）
12週目	テスト_収録前の練習を行います。
13週目	1年の振り返り
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	その日行う課題（例えば、発声練習）は、授業のときだけするためには行っていません。授業の中には、「やり続ける」課題が、いっぱいあります。（例えば、万全な体調、滑舌練習など）それらを、いつも行うようにしてください。 そして、授業の日にも行いましょう。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	1回の授業で「とてつもない」ことを成し遂げようとするのではなく、小さなことの積み重ねでしか、「とてつもない」ことは起こらないと思っていてください。 上手にしようと考えなくて大丈夫です。何かが出来るために、何をするのかを一緒に考えていきたいと思います。

【使用教科書・教材・参考書】
発声練習・1回目の授業で配布。
それ以降のテキストは、授業ごとに随時配布。

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	アフレコ演習B（After recording B）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	ダンス＆アクターズ科・昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	実演	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】
演習Bにおいては、実際にスタジオに入り、演習Aによって鍛えられた、表現を「マイク」を使って、収録していく。2～4週に1度は収録を行い。プレイバックを行うことで、次へのフィードバックを生み、さらに表現の幅を広げていく。

【実務者経験】
大学在学中に劇団を立ち上げ、以降18年に渡り、90本以上の舞台作品に関わる。その傍ら、後進の指導に携わる。
声優にとっての、「声だけで表現する演技」を中心に、スタジオの用語、マナーなどを伝える。

【到達目標】
自分の「声」の性質を知り、その「声」を使って様々な作品の様々なキャラクターを演じようと思う気持ちを育む。
また、収録においては、事前の準備をし、万全の体調、万全の精神で挑めるような、健全な身体になる。

授業計画・内容	
1週目	年間ガイダンス_授業の方針、手段、到達点を述べます。
2週目	作品に触れる①-1_台本の見方、用語なども述べます。
3週目	作品に触れる①-2_台本を読む前に行うことを述べます。
4週目	収録①_フィードバック含みます。
5週目	作品に触れる②-1_距離感、方向を考えます。
6週目	作品に触れる②-1_距離感、方向を考えます。
7週目	収録②_フィードバック含みます。
8週目	作品に触れる③_反応について考えます。
9週目	収録③_フィードバック含みます。
10週目	作品に触れる④_速さ、間を考えます。
11週目	作品に触れる④_気持ちを具現化することを考えます。
12週目	テスト_収録
13週目	前期の振り返り
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	その日行う課題（例えば、発声練習）は、授業のときだけするためには行っていません。授業の中には、「やり続ける」課題が、いっぱいあります。（例えば、万全な体調、滑舌練習など）それらを、いつも行うようにしてください。 そして、授業の日にも行いましょう。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	1回の授業で「とてつもない」ことを成し遂げようとするのではなく、小さなことの積み重ねでしか、「とてつもない」ことは起こらないと思っててください。 上手にしようと考えなくて大丈夫です。何かが出来るために、何をするのかを一緒に考えていきたいと思います。

【使用教科書・教材・参考書】
発声練習・1回目の授業で配布。
それ以降のテキストは、授業ごとに随時配布。
また、演習Aで行ったテキストも随時使用。

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	アフレコ演習B（After recording B）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	ダンス＆アクターズ科 ・ 昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	実演	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】
アニメ作品を中心に実際にスタジオに入り、前期によって鍛えられた、表現を「マイク」を使って、収録していく。2～4週に1度は収録を行い、プレイバックを行うことで、次へのフィードバックを生み、さらに表現の幅を広げていく。
年度の終盤には1年間の成果作品を制作していく。

【実務者経験】
大学在学中に劇団を立ち上げ、以降18年に渡り、90本以上の舞台作品に関わる。その傍ら、後進の指導に携わる。
声優にとっての、「声だけで表現する演技」を中心に、スタジオの用語、マナーなどを伝える。

【到達目標】
自分の「声」の性質を知り、その「声」を使って様々な作品の様々なキャラクターを演じようと思う気持ちを育む。
また、グループで作業を行うことによって、協調性はもちろん主張性も育む。

授業計画・内容	
1週目	前期の復讐①_発声練習、声の要素
2週目	前期の復讐②_会話の教養
3週目	作品に触れる⑤-1_練習_キャラクーの与えられた状況を考える。
4週目	作品に触れる⑤-2_収録
5週目	作品に触れる⑥-1_練習_相手のキャラクターとの距離感を感じる。
6週目	作品に触れる⑥-2_収録
7週目	作品に触れる⑦-1_練習_感情を「声」だけで表現する。
8週目	作品に触れる⑦-2_収録
9週目	年間成果作品作業（作品選定）（台本作成）
10週目	年間成果作品作業（台本作成）（配役・練習）
11週目	年間成果作品作業（練習・リハーサル）
12週目	年間成果作品作業（収録）
13週目	テスト_収録前の練習を行います。1年の振り返り
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	その日行う課題（例えば、発声練習）は、授業のときだけするためには行っていません。授業の中には、「やり続ける」課題が、いっぱいあります。（例えば、万全な体調、滑舌練習など）それらを、いつも行うようにしてください。 そして、授業の日にも行いましょう。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	1回の授業で「とてつもない」ことを成し遂げようとするのではなく、小さなことの積み重ねでしか、「とてつもない」ことは起こらない と思っててください。 上手にしようと考えなくて大丈夫です。何かが出来るために、何をするのかを一緒に考えていきたいと思います。

【使用教科書・教材・参考書】
発声練習・1回目の授業で配布。
それ以降のテキストは、授業ごとに随時配布。

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	ジャズ（Jazz）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	ダンス＆アクターズ科 ・ 昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	実演	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】
WPEX(ウォームアップエクササイズ)から始めダンスに必要な筋力、柔軟性、バランス力などを高め、振付を通して技術、表現力を身に付けて行く。

【実務者経験】
ヨーロッパを中心にワークショップ、海外公演を成功させる。帰国後は師である小森美紀と共にDance“MOVE”!!を立ち上げ、スタジオ運営と同時にダンサー・インストラクター・イベントプロデューサーとして活躍。

【到達目標】
Who am I? Whewe am I? Why am I?を理解し表現力を身に付け、どんなシーンでも踊れるダンサーを目指す。

授業計画・内容	
1週目	WPEX→テクニック(クロスフロア等)→振付
2週目	WPEX→テクニック(クロスフロア等)→振付のクリーンアップと進行
3週目	WPEX→テクニック(クロスフロア等)→振付のクリーンアップと進行
4週目	WPEX→テクニック(クロスフロア等)→振付のクリーンアップと進行
5週目	WPEX→テクニック(クロスフロア等)→振付のクリーンアップと進行
6週目	WPEX→テクニック(クロスフロア等)→振付のクリーンアップと進行
7週目	WPEX→テクニック(クロスフロア等)→振付のクリーンアップと進行
8週目	WPEX→テクニック(クロスフロア等)→振付のクリーンアップと進行
9週目	WPEX→テクニック(クロスフロア等)→振付のクリーンアップと進行
10週目	WPEX→テクニック(クロスフロア等)→振付のクリーンアップと進行
11週目	WPEX→テクニック(クロスフロア等)→振付のクリーンアップと表現について
12週目	WPEX→テクニック(クロスフロア等)→振付のクリーンアップと表現について
13週目	WPEX→テクニック(クロスフロア等)→振付のクリーンアップと表現について
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	振付のイメージトレーニング、テクニックのポイントのおさらい
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	いつも笑顔でHappyな自分を保ってください。自分の機嫌は自分で取る！教室にネガティブな空気を持ち込まない事。落ち込んだりしてしまった時は「カラ元気」。これ効果あります。①よく見る②良く聞く③やってみる。以上の3つの事が理解、実行できたら素晴らしい結果が出せるでしょう。共に成長していきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	ジャズ（Jazz）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	ダンス＆アクターズ科・昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	実演	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】
ダンスに必要な筋力、柔軟性、バランス力などを高め、振付を通して技術、表現力を身に付けて行く。

【実務者経験】
ヨーロッパを中心にワークショップ、海外公演を成功させる。帰国後は師である小森美紀と共にDance“MOVE”!!を立ち上げ、スタジオ運営と同時にダンサー・インストラクター・イベントプロデューサーとして活躍。

【到達目標】
Who am I? Whewe am I? Why am I?を理解し表現力を身に付け、どんなシーンでも踊れるダンサーを目指す。

授業計画・内容	
1週目	テクニック(クロスフロア等)→振付
2週目	テクニック(クロスフロア等)→振付のクリーンアップと進行
3週目	テクニック(クロスフロア等)→振付のクリーンアップと進行
4週目	テクニック(クロスフロア等)→振付のクリーンアップと進行
5週目	テクニック(クロスフロア等)→振付のクリーンアップと進行
6週目	テクニック(クロスフロア等)→振付のクリーンアップと進行
7週目	テクニック(クロスフロア等)→振付のクリーンアップと進行
8週目	テクニック(クロスフロア等)→振付のクリーンアップと進行
9週目	テクニック(クロスフロア等)→振付のクリーンアップと進行
10週目	テクニック(クロスフロア等)→振付のクリーンアップと進行
11週目	テクニック(クロスフロア等)→振付のクリーンアップと表現について
12週目	テクニック(クロスフロア等)→振付のクリーンアップと表現について
13週目	テクニック(クロスフロア等)→振付のクリーンアップと表現について
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	振付のイメージトレーニング、テクニックのポイントのおさらい
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	いつも笑顔でHappyな自分を保ってください。自分の機嫌は自分で取る！教室にネガティブな空気を持ち込まない事。落ち込んだりしてしまった時は「カラ元気」。これ効果あります。①よく見る②良く聞く③やってみる。以上の3つの事が理解、実行できたら素晴らしい結果が出せるでしょう。共に成長していきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	ジャズA/B 1（JazzA/B 1）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	ダンス＆アクターズ科 ・ 昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	実演	総時間	120	開講区分	前期

【授業の学習内容】
Jazz Danceに触れる・慣れる・基本・基礎を学ぶ

【実務者経験】ユニバーサルスタジオジャパンダンサーを始め、ウルフルズ野外ライブダンサー、NHK「大阪ラプソディ」オープニングダンサー、吉本新喜劇ダンサー、東京で様々な舞台を経験している。

【到達目標】
Jazz Danceの基本、基礎を習得

授業計画・内容	
1週目	自己紹介 ストレッチ等の説明
2週目	前回の続き（ロールUP、フラットバック、コンビネーション）
3週目	前回の復習（プリエ、タンジュ、コンビネーション）
4週目	前回の復習（ロンデジャンプ、バットマン、コンビネーション）
5週目	前回の復習（ピルエット、バットマン、コンビネーション）
6週目	前回の復習（ピルエット、バットマン、コンビネーション）
7週目	前回の復習（ピルエットコンビネーション、ピケ、コンビネーション）
8週目	前回の復習（ピルエットコンビネーション、ピケ、シェネ）
9週目	前回の復習（ピルエットコンビネーション、ピケ、シェネ）
10週目	前回の復習（トレーニング、コンビネーション）
11週目	前回の復習（トレーニング、コンビネーション）
12週目	今までの復習・応用・コンビネーション
13週目	今までの復習・応用・コンビネーション
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	楽しく厳しくJazz Danceに慣れていきましょう！！

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	ジャズA/B 1（JazzA/B 1）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	ダンス＆アクターズ科・昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	実演	総時間	120	開講区分	後期

【授業の学習内容】
前期のブラッシュアップ、レベルアップ

【実務者経験】ユニバーサルスタジオジャパンダンサーを始め、ウルフルズ野外ライブダンサー、NHK「大阪ラプソディ」オープニングダンサー、吉本新喜劇ダンサー、東京で様々な舞台を経験している。

【到達目標】
1つの作品を踊る

授業計画・内容	
1週目	前期の復習、もう少し細かく理解する、コンビネーション
2週目	前期の復習、もう少し細かく理解する、作品作り
3週目	前期の復習、もう少し細かく理解する、作品作り
4週目	クロスフロア、ターンの応用
5週目	センターでのターンの応用
6週目	Jump（小さいJump、早いJump）
7週目	Jump(大きいJump、クロスフロア)
8週目	Jumpのコンビネーション
9週目	復習　応用(今までの事を踏まえて)
10週目	クロスフロア、コンビネーション
11週目	アダージオ
12週目	復習
13週目	作品完成(発表)
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	まだ知らない自分に出会いましょう！そのための努力は怠らないように！

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	ストリートA 1（StreetA 1）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	ダンス＆アクターズ科 ・ 昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	実演	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】
ストリートダンスの基本を習得。

【実務者経験】テーマパークダンサーとして活躍。その後大阪を拠点に活動中。ダンスだけでなくイベントオーガナイズやDJ、楽曲製作をも手掛ける。POPとHIPHOPの融合したダンススタイルを軸に、様々なジャンルで活躍を経る。

【到達目標】
自分で考えて応用できる。

授業計画・内容	
1週目	基本ステップの習得
2週目	基本ステップの習得
3週目	基本ステップの習得
4週目	1～3週のまとめ、応用
5週目	自由に踊る練習
6週目	基本ステップの習得
7週目	基本ステップの習得
8週目	基本ステップの習得
9週目	振り付けの練習
10週目	振り付けの練習
11週目	振り渡しの練習
12週目	テスト
13週目	まとめ
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	習ったステップ、振付の練習
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	ストリートダンスの基本を理解し、自分だけのカッコイイを見つけましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	ストリートA 1（StreetA 1）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	ダンス＆アクターズ科 ・ 昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	実演	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】
ストリートダンスの基本を習得

【実務者経験】テーマパークダンサーとして活躍。その後大阪を拠点に活動中。ダンスだけでなくイベントオーガナイズやDJ、楽曲製作をも手掛ける。POPとHIPHOPの融合したダンススタイルを軸に、様々なジャンルで活躍を経る。

【到達目標】
自分で考えて応用できる

授業計画・内容	
1週目	基本ステップの応用
2週目	基本ステップの応用
3週目	基本ステップの応用
4週目	1～3週のまとめ
5週目	自由に踊る練習
6週目	基本ステップの応用
7週目	基本ステップの応用
8週目	基本ステップの応用
9週目	振り付けの練習
10週目	振り付けの練習
11週目	振り渡しの練習
12週目	テスト
13週目	まとめ
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ

準備学習 時間外学習	習ったステップ、振付の練習
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	ストリートダンスの基本を理解し、自分だけのカッコイイを見つけましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	ストリートB 1（StreetB 1）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	ダンス＆アクターズ科 ・ 昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	実演	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】
STYLE HIP HOPの上達、教える力を身に付ける

【実務者経験】
関西を中心に活動をしている人気で注目されているNaomi shizu MAO hana Yuiko フィメールダンサー5人チーム
様々なショーケース、コンテストにも出場し、関西コレクション振り付け出演し、ナンバー、バックダンサー振付、個々のコレオグラファー、パフォーマーで活動中。

【到達目標】
基礎がしっかりでき、フリ覚えを良くしっかり踊れるように。

授業計画・内容	
1週目	アイソレーション重点で進める。
2週目	アイソレーション重点で進める。
3週目	アイソレーション重点で進める。
4週目	1曲ルーティンを終わらせてチェックする
5週目	筋トレ重点で進める
6週目	筋トレ重点で進める
7週目	筋トレ重点で進める
8週目	1曲ルーティンを終わらせて、構成を付ける
9週目	長めのルーティンを1週目
10週目	長めのルーティンを2週目
11週目	自分で振り付けをつけて発表
12週目	振り付けを何人かが振り写しをする
13週目	ルーティンを1人ずつ発表する
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	前回授業の復習
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	しっかり練習すること

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	ストリートB 1（StreetB 1）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	ダンス＆アクターズ科 ・ 昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	実演	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】
STYLE HIP HOPの上達、個性を出し自分らしく

【実務者経験】
関西を中心に活動をしている人気で注目されているNaomi shizu MAO hana Yuiko フィメールダンサー5人チーム様々なショーケース、コンテストにも出場し、関西コレクション振り付け出演し、ナンバー、バックダンサー振付、個々のコレオグラファー、パフォーマーで活動中。

【到達目標】
基礎ができつつ、自分の個性をしっかり出せるように

授業計画・内容	
1週目	トレーニングで鍛える
2週目	トレーニングで鍛える
3週目	ルーティンを終わらせてチェックする
4週目	アイソレーション
5週目	アイソレーションのルーティンを作る
6週目	アイソレーションチェック
7週目	ウェーブ基礎
8週目	ウェーブ応用
9週目	ターン基礎
10週目	ターン応用
11週目	ルーティン構成
12週目	発表
13週目	まとめ
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習時間外学習	前回授業の復習
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	しっかり練習すること

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	ストリートC 1（StreetC 1）	必修選択	選択	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	ダンス＆アクターズ科 ・ 昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	実演	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】
ストレッチ、筋力トレーニング、アイソレーション、リズムトレーニング、簡単な振付

【実務者経験】
dance studio MINT インストラクター
グンゼスポーツ　インストラクター　　たこやきレインボー　ダンスアシスタント

【到達目標】
体の可動域を広げる。
一人一人が実感できるレベルまで基礎を上げる。

授業計画・内容	
1週目	基礎力チェック
2週目	基礎メイン+簡単な振付
3週目	基礎メイン+簡単な振付
4週目	基礎メイン+簡単な振付
5週目	基礎メイン+簡単な振付+簡単なステップ練習
6週目	基礎メイン+簡単な振付+簡単なステップ練習
7週目	基礎メイン+簡単な振付+簡単なステップ練習
8週目	基礎+簡単な振付+簡単なステップ練習+組み合わせる
9週目	基礎+簡単な振付+簡単なステップ練習+組み合わせる
10週目	基礎+簡単な振付+簡単なステップ練習+組み合わせる
11週目	基礎+振付+ステップ練習
12週目	基礎+振付+ステップ練習
13週目	基礎+振付+ステップ練習+組み合わせる
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	振付が続く場合、復習 ステップ復習
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	楽しみながら1つでも多くのことを習得してもらえたら嬉しいです！

【使用教科書・教材・参考書】
特になし

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	ストリートC 1（StreetC 1）	必修選択	選択	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	ダンス＆アクターズ科 ・ 昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	実演	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】
ストレッチ、筋力トレーニング、アイソレーション、リズムトレーニング、簡単な振付

【実務者経験】
dance studio MINT インストラクター
グンゼスポーツ　インストラクター　　たこやきレインボー　ダンスアシスタント

【到達目標】
体の可動域を広げる。
一人一人が実感できるレベルまで基礎を上げる。

授業計画・内容	
1週目	基礎力チェック
2週目	基礎メイン+簡単な振付
3週目	基礎メイン+簡単な振付
4週目	基礎メイン+簡単な振付+簡単なステップ練習
5週目	基礎メイン+簡単な振付+簡単なステップ練習
6週目	基礎メイン+簡単な振付+簡単なステップ練習
7週目	基礎+簡単な振付+簡単なステップ練習+組み合わせる
8週目	基礎+簡単な振付+簡単なステップ練習+組み合わせる
9週目	基礎+簡単な振付+簡単なステップ練習+組み合わせる
10週目	基礎+振付+ステップ練習
11週目	基礎+振付+ステップ練習
12週目	基礎+振付+ステップ練習+組み合わせる
13週目	基礎+振付+ステップ練習+組み合わせる
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	振付が続く場合、復習 ステップ復習
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	楽しみながら1つでも多くのことを習得してもらえたら嬉しいです！

【使用教科書・教材・参考書】
特になし

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	セルフプロデュース/ステージング（Self produced/Staging）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	ダンス＆アクターズ科・昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	実演	総時間	120	開講区分	前期

【授業の学習内容】
9月公演の出演、作品A(Mika Moteki振付、JAZZ)、作品B(YUKI/Sound Cream Steppers振付、HOUSE)を通してセルフプロデュース、ステージングを学ぶ。

【実務者経験】
ヨーロッパを中心にワークショップ、海外公演を成功させる。帰国後は師である小森美紀と共にDance“MOVE”!!を立ち上げ、スタジオ運営と同時にダンサー・インストラクター・イベントプロデューサーとして活躍。

【到達目標】
視野を広げ目標に向かいセルフプロデュースの引き出しを増やす。9月公演の出演での成長(ステージング)。

授業計画・内容	
1週目	目指すダンサー像は？ダンスで自己表現をしてみる(音源を持参し1人ずつ踊る)。セルフプロデュース、ステージングとは？/作品A振付
2週目	ステージング/作品A実践練習(構成など)
3週目	ステージング/作品A実践練習(構成など)
4週目	トークショースタイル、ゲスト講師YUKI(Sound Cream Steppers)によるレクチャーと作品B振付
5週目	デモ オーディション/作品A実践練習
6週目	作品B(ゲスト講師YUKI)
7週目	ステージング/作品A実践練習
8週目	作品B(ゲスト講師YUKI)
9週目	作品B(ゲスト講師YUKI)
10週目	デモ オーディション/作品A実践練習
11週目	作品A・B実践練習(ドレスリハーサルなど)
12週目	作品A・B実践練習
13週目	作品A・B実践練習
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習時間外学習	プロフィール作成、衣装作成、作品自主練習、作品Aでのフリーパートの振付(極一部)
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	いつも笑顔でHappyな自分を保ってください。自分の機嫌は自分で取る！教室にネガティブな空気を持ち込まない事。落ち込んだりしてしまった時は「カラ元気」。これ効果あります。①よく見る②良く聞く③やってみる。以上の3つの事が理解、実行できたら素晴らしい結果が出せるでしょう。共に成長していきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	セルフプロデュース/ステージング（Self produced/Staging）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	ダンス＆アクターズ科 ・ 昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	実演	総時間	120	開講区分	後期

【授業の学習内容】
2月公演の出演、作品A、作品Bを通してセルフプロデュース、ステージングを学ぶ。

【実務者経験】
ヨーロッパを中心にワークショップ、海外公演を成功させる。帰国後は師である小森美紀と共にDance“MOVE”!!を立ち上げ、スタジオ運営と同時にダンサー・インストラクター・イベントプロデューサーとして活躍。

【到達目標】
視野を広げ目標に向かいセルフプロデュースの引き出しを増やす。2月公演の出演での成長(ステージング)。

授業計画・内容	
1週目	ステージング/作品A実践練習(構成など)
2週目	ステージング/作品A実践練習(構成など)
3週目	ステージング/作品A実践練習(構成など)
4週目	ゲスト講師によるレクチャーと作品B振付
5週目	デモ オーディション/作品A実践練習
6週目	作品B(ゲスト講師)
7週目	ステージング/作品A実践練習
8週目	作品B(ゲスト講師)
9週目	作品B(ゲスト講師)
10週目	デモ オーディション/作品A実践練習
11週目	作品A・B実践練習(ドレスリハーサルなど)
12週目	作品A・B実践練習
13週目	作品A・B実践練習
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	プロフィール作成、衣装作成、作品自主練習、作品Aでのフリーパートの振付(極一部)
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	いつも笑顔でHappyな自分を保ってください。自分の機嫌は自分で取る！教室にネガティブな空気を持ち込まない事。落ち込んだりしてしまった時は「カラ元気」。これ効果あります。①よく見る②良く聞く③やってみる。以上の3つの事が理解、実行できたら素晴らしい結果が出せるでしょう。共に成長していきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	セルフプロデュース・ステージング（Self produced・Staging）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	ダンス＆アクターズ科・昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	実演	総時間	120	開講区分	前期

【授業の学習内容】
9月公演の出演、作品A(Mika Moteki振付、JAZZ)、作品B(YUKI/Sound Cream Steppers振付、HOUSE)を通してセルフプロデュース、ステージングを学ぶ。

【実務者経験】
ヨーロッパを中心にワークショップ、海外公演を成功させる。帰国後は師である小森美紀と共にDance“MOVE”!!を立ち上げ、スタジオ運営と同時にダンサー・インストラクター・イベントプロデューサーとして活躍。

【到達目標】
視野を広げ目標に向かいセルフプロデュースの引き出しを増やす。9月公演の出演での成長(ステージング)。

授業計画・内容	
1週目	目指すダンサー像は？ダンスで自己表現をしてみる(音源を持参し1人ずつ踊る)。セルフプロデュース、ステージングとは？/作品A振付
2週目	ステージング/作品A実践練習(構成など)
3週目	ステージング/作品A実践練習(構成など)
4週目	トークショースタイル、ゲスト講師YUKI(Sound Cream Steppers)によるレクチャーと作品B振付
5週目	デモ オーディション/作品A実践練習
6週目	作品B(ゲスト講師YUKI)
7週目	ステージング/作品A実践練習
8週目	作品B(ゲスト講師YUKI)
9週目	作品B(ゲスト講師YUKI)
10週目	デモ オーディション/作品A実践練習
11週目	作品A・B実践練習(ドレスリハーサルなど)
12週目	作品A・B実践練習
13週目	作品A・B実践練習
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習時間外学習	プロフィール作成、衣装作成、作品自主練習、作品Aでのフリーパートの振付(極一部)
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	いつも笑顔でHappyな自分を保ってください。自分の機嫌は自分で取る！教室にネガティブな空気を持ち込まない事。落ち込んだりしてしまった時は「カラ元気」。これ効果あります。①よく見る②良く聞く③やってみる。以上の3つの事が理解、実行できたら素晴らしい結果が出せるでしょう。共に成長していきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	セルフプロデュース･ステージング（Self produced･Staging）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科･コース	ダンス＆アクターズ科 ・ 昼間Ⅰ部･Ⅱ部	授業形態	実演	総時間	120	開講区分	後期

【授業の学習内容】
２月公演の出演、作品A、作品Bを通してセルフプロデュース、ステージングを学ぶ。

【実務者経験】
ヨーロッパを中心にワークショップ、海外公演を成功させる。帰国後は師である小森美紀と共にDance“MOVE”!!を立ち上げ、スタジオ運営と同時にダンサー・インストラクター・イベントプロデューサーとして活躍。

【到達目標】
視野を広げ目標に向かいセルフプロデュースの引き出しを増やす。２月公演の出演での成長(ステージング)。

授業計画・内容	
1週目	ステージング／作品A実践練習(構成など)
2週目	ステージング／作品A実践練習(構成など)
3週目	ステージング／作品A実践練習(構成など)
4週目	ゲスト講師によるレクチャーと作品B振付
5週目	デモ オーディション／作品A実践練習
6週目	作品B(ゲスト講師)
7週目	ステージング／作品A実践練習
8週目	作品B(ゲスト講師)
9週目	作品B(ゲスト講師)
10週目	デモ オーディション／作品A実践練習
11週目	作品A・B実践練習(ドレスリハーサルなど)
12週目	作品A・B実践練習
13週目	作品A・B実践練習
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	プロフィール作成、衣装作成、作品自主練習、作品Aでのフリーパートの振付(極一部)
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	いつも笑顔でHappyな自分を保ってください。自分の機嫌は自分で取る！教室にネガティブな空気を持ち込まない事。落ち込んだりしてしまった時は「カラ元気」。これ効果あります。①よく見る②良く聞く③やってみる。以上の3つの事が理解、実行できたら素晴らしい結果が出せるでしょう。共に成長していきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	ナレーション 1 (Narration 1)	必修選択	必須	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	ダンス＆アクターズ科 ・ 昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	講義・実演	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】
日常にあふれるナレーション、音声発信に関心を持ち、ニュース、お知らせ文などの情報を伝えること、作品にあわせたナレーションを読み伝えることなど実践を行う。その中で、いかにナレーター、読み手が重要な立場であるか体験する

【実務者経験】
ラジオパーソナリティー・アシスタント歴13年（ラジオ関西）テレビアナウンス・リポーター10年、MC歴20年。映像制作全般、企画、構成、編集経験あり。明石ケーブルテレビ制作部（社員期間5年・契約5年）サンテレビ、ラジオ関西、ABCラジオ、KBS京都、MBS，企業VP、大手電力会社CM出演。 コミュニケーションをテーマとした講演・研修・セミナー講師として企業・自治体で活動

【到達目標】
読むことと、読み伝えることの違いを知る。ナレーションの種類、分野、必要性、意図を踏まえる。実践では、意味通りに、的確に「文字」を「音」「声」で伝えることを身につける

授業計画・内容	
1週目	オリエンテーション　日常にあふれるナレーションについて知る　放送は一方通行
2週目	【情報を伝える】自然な声をつかむ　短文・手紙
3週目	【情報を伝える】話すように読む　音の高低をつかむ
4週目	【情報を伝える】意味通りに声に出す　（お知らせ文）テーマ、意味、段落、具体例にわける
5週目	【情報を伝える】意味通りのイントネーションで伝える1　（長い修飾文・ニュース原稿）
6週目	【情報を伝える】意味通りのイントネーションで伝える2　（長い修飾文・ニュース原稿）
7週目	【情報を伝える】わかりやすく読む工夫　1（長い修飾文・ニュース原稿）間・緩急など
8週目	【情報を伝える】わかりやすく読む工夫2　（長い修飾文・ニュース原稿）間・緩急など
9週目	【情報を伝える】CM・パブリシティ
10週目	【作品を読み伝える】ナレーション
11週目	【作品を読み伝える】朗読
12週目	【実践テスト】録音
13週目	前期の振り返り・チャック
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習時間外学習	落語・ドキュメンタリー映像・朗読に触れる機会を増やす
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	情報（説明・報告・ニュース・注意事項・お知らせ・）を「人の声」を介して伝える意味、重要性を知ったうえで技術を磨いてほしい。また、ドキュメンタリ-のナーレーション、朗読など、他者が創作したものを読み伝えることは、作り手（作家、ディレクター・プロデューサー、スポンサー）の作品に対する思いや作品の意図を十分に理解すること。それを表現するために、ナレーターとしての技術だけでなく人間性を磨くことも大切である。

【使用教科書・教材・参考書】
落語音声やドキュメンタリー映像・ナレーション音源

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	ナレーション 1（Narration 1）	必修選択	必須	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	ダンス＆アクターズ科 ・ 昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	講義・実演	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】
日常にあふれるナレーション、音声発信に関心を持ち、ニュース、お知らせ文などの情報を伝えること、作品にあわせたナレーションを読み伝えることなど実践を行う。その中で、いかにナレーター、読み手が重要な立場であるか体験する

【実務者経験】
ラジオパーソナリティー・アシスタント歴13年（ラジオ関西）テレビアナウンス・リポーター10年、MC歴20年。映像制作全般、企画、構成、編集経験あり。明石ケーブルテレビ制作部（社員期間5年・契約5年）サンテレビ、ラジオ関西、ABCラジオ、KBS京都、MBS，企業VP、大手電力会社CM出演。 コミュニケーションをテーマとした講演・研修・セミナー講師として企業・自治体で活動

【到達目標】
読むことと、読み伝えることの違いを知る。ナレーションの種類、分野、必要性、意図を踏まえる。実践では、意味通りに、的確に「文字」を「音」「声」で伝えることを身につける

授業計画・内容	
1週目	【振り返り】前期を踏まえて後期の目標設定
2週目	【情報を伝える】お知らせ文をプロのチェック
3週目	【情報を伝える】お知らせ文　録音　フィードドバック
4週目	【情報を伝える】世の中のCMを観る・聴く
5週目	【情報を伝える】CM　トレーニング　録音
6週目	落語の映像・噺方をみる
7週目	【情報を伝える】ニュース読み・天気情報　プロのチェック
8週目	【作品を読み伝える】好きな朗読・詩　を読み解く
9週目	【作品を読み伝える】朗読・詩　を読む
10週目	映像ナレーションについて学ぶ・映像を見る
11週目	映像に合わせてナレーションを読むトレーニング
12週目	【実践テスト】録音
13週目	後期の振り返り・チャック
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	落語・ドキュメンタリー映像・朗読に触れる機会を増やす
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	情報（説明・報告・ニュース・注意事項・お知らせ・）を「人の声」を介して伝える意味、重要性を知ったうえで技術を磨いてほしい。また、ドキュメンタリ-のナーレーション、朗読など、他者が創作したものを読み伝えることは、作り手（作家、ディレクター・プロデューサー、スポンサー）の作品に対する思いや作品の意図を十分に理解すること。それを表現するために、ナレーターとしての技術だけでなく人間性を磨くことも大切である。

【使用教科書・教材・参考書】
落語音声やドキュメンタリー映像・ナレーション音源

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	バレエA･B１（balletA･B１）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	ダンス＆アクターズ科 ・ 昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	実演	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】
踊れる身体づくりを中心にダンスの基盤となる基礎的な技術をBalletを通して習得。またコンディションの整え方、柔軟性を高め、可動域を広げる等ダンサーとして必要な能力を高める。セルフケアの仕方も習得する。

【実務者経験】
ヨーロッパを中心にワークショップ、海外公演を成功させる。帰国後は師である小森美紀と共にDance“MOVE”!!を立ち上げ、スタジオ運営と同時にダンサー・インストラクター・イベントプロデューサーとして活躍。

【到達目標】
強い身体、ケガをしない、また、ケガをしても回復能力の高い身体づくりを目指す。
基礎的な技術の習得。

授業計画・内容	
1週目	自信の身体の状態、特徴などを知る。バーでは「立ち方」「軸の取り方」「プリエ」を学ぶ
2週目	1週目に＋「足の裏の使い方」を学ぶ。
3週目	2週目に＋「タンデュ」「デガジェ」を学ぶ。
4週目	柔軟性や可動域の広がり等をチェック。3週目までのソリューション。
5週目	ストレッチと4週までのソリューション＋「ロンドジャンプ」
6週目	5週目に＋「フォンデュ」
7週目	6週目に＋「フラッペ」
8週目	7週目に＋「ピルエット」
9週目	身体の進歩をチェック。7週目までのソリューション
10週目	ストレッチと8週目までのソリューションに＋「シャンジマン」
11週目	9週目に＋「デプロッペ」
12週目	ストレッチと11週目までのソリューション
13週目	ストレッチと12週目までのソリューション
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	セルフケアストレッチをクラス前とクラス後に行う。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	いつも笑顔でHappyな自分を保ってください。自分の機嫌は自分で取る！教室にネガティブな空気を持ち込まない事。落ち込んだりしてしまった時は「カラ元気」。これ効果あります。①よく見る②良く聞く③やってみる。以上の3つの事が理解、実行できたら素晴らしい結果が出せるでしょう。共に成長していきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	バレエA･B１（balletA･B１）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	ダンス＆アクターズ科・昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	実演	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】
踊れる身体づくりを中心にダンスの基盤となる基礎的な技術をBalletを通して習得。またコンディションの整え方、柔軟性を高め、可動域を広げる等ダンサーとして必要な能力を高める。セルフケアの仕方も習得する。

【実務者経験】
ヨーロッパを中心にワークショップ、海外公演を成功させる。帰国後は師である小森美紀と共にDance“MOVE”!!を立ち上げ、スタジオ運営と同時にダンサー・インストラクター・イベントプロデューサーとして活躍。

【到達目標】
強い身体、ケガをしない、また、ケガをしても回復能力の高い身体づくりを目指す。
基礎的な技術の習得。

授業計画・内容	
1週目	バーでは「立ち方」「軸の取り方」「プリエ」応用
2週目	1週目に＋「足の裏の使い方」応用
3週目	2週目に＋「タンデュ」「デガジェ」応用
4週目	柔軟性や可動域の広がり等をチェック。3週目までのソリューション。
5週目	ストレッチと4週までのソリューション＋「ロンドジャンプ」応用
6週目	5週目に＋「フォンデュ」応用
7週目	6週目に＋「フラッペ」応用
8週目	7週目に＋「ピルエット」応用
9週目	身体の進歩をチェック。7週目までのソリューション
10週目	ストレッチと8週目までのソリューションに＋「シャンジマン」応用
11週目	9週目に＋「デプロッペ」応用
12週目	ストレッチと11週目までのソリューション
13週目	ストレッチと12週目までのソリューション
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習時間外学習	セルフケアストレッチをクラス前とクラス後に行う。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	いつも笑顔でHappyな自分を保ってください。自分の機嫌は自分で取る！教室にネガティブな空気を持ち込まない事。落ち込んだりしてしまった時は「カラ元気」。これ効果あります。①よく見る②良く聞く③やってみる。以上の3つの事が理解、実行できたら素晴らしい結果が出せるでしょう。共に成長していきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	フリートーク（Free talk）	必修選択	必須	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	ダンス＆アクターズ科 ・ 昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	講義・実演	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】
フリートーク＝話すことは、話すプロだけでなく、社会生活を営む上で大切な「コミュニケーション」を図るために必要なツールである。授業では、コミュニケーションの基本から話すプロが行う、アナウンス法、リポート、インタビュー、ラジオパーソナリティーの技法、技術を実践中心に行う。

【実務者経験】
ラジオパーソナリティー・アシスタント歴13年（ラジオ関西）テレビアナウンス・リポーター10年、MC歴20年。映像制作全般、企画、構成、編集経験あり。明石ケーブルテレビ制作部（社員期間5年・契約5年）サンテレビ、ラジオ関西、ABCラジオ、KBS京都、MBS，企業VP、大手電力会社CM出演。 コミュニケーションをテーマとした講演・研修・セミナー講師として企業・自治体で活動

【到達目標】
フリートークの授業を通して、話すプロとして求められる、話す力を身につける。授業では、ワークや実践を通して、発信力、説明力、要約力、質問力、対話力を磨く。また、人前で自分の言葉で表現する喜びを得る

授業計画・内容	
1週目	オリエンテーション　自己紹介・授業内容について
2週目	【発信力・受信力】自己分析、印象チェック
3週目	【発信力・受信力】他己紹介・自己紹介・マナー・挨拶
4週目	コミュニケーションとは　認知の違い、自己承認や自己肯定について
5週目	【説明力】 リポートをしよう　観察力・言語力を鍛える　視覚情報を言語化する
6週目	【説明力】 リポートをしよう　話の組み立てを考える
7週目	【説明力】 リポートをしよう　表現力を磨く（天気・食リポの場合）
8週目	敬語について　MC・司会の仕事で必須
9週目	【説明力】 リポートをしよう　要約力を身につける　表資料・新聞記事の拾い読み
10週目	【説明力】 リポートをしよう　話の組み立てについて
11週目	【説明力】 リポートをしよう　3分リポートテーマ・内容・順番、
12週目	【説明力・取材力】リポートしよう　リポート実践（ラジオ編）
13週目	前期の振り返り・リポート内容等確認
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習時間外学習	授業の際に、自分の感情や日々について自分の言葉で話す時間を設ける
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	今後、どのような立場であっても「わかるように自然に話す」ことは求めらます。「フリートーク」の授業を通して、自分の言葉で、自分の想いや考え、意志を伝えること、「話す力」を磨いていってください。

【使用教科書・教材・参考書】
アナウンス辞典、新聞、絵本、色彩心理カード、話し方参考文献

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	フリートーク（Free talk）	必修選択	必須	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	ダンス＆アクターズ科 ・ 昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	講義・実践	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】
フリートーク＝話すことは、話すプロだけでなく、社会生活を営む上で大切な「コミュニケーション」を図るために必要なツールである。授業では、コミュニケーションの基本から話すプロが行う、アナウンス法、リポート、インタビュー、ラジオパーソナリティーの技法、技術を実践中心に行う。

【実務者経験】
ラジオパーソナリティー・アシスタント歴13年（ラジオ関西）テレビアナウンス・リポーター10年、MC歴20年。映像制作全般、企画、構成、編集経験あり。明石ケーブルテレビ制作部（社員期間5年・契約5年）サンテレビ、ラジオ関西、ABCラジオ、KBS京都、MBS，企業VP、大手電力会社CM出演。 コミュニケーションをテーマとした講演・研修・セミナー講師として企業・自治体で活動

【到達目標】
フリートークの授業を通して、話すプロとして求められる、話す力を身につける。授業では、ワークや実践を通して、発信力、説明力、要約力、質問力、対話力を磨く。また、人前で自分の言葉で表現する喜びを得る

授業計画・内容	
1週目	前期の振り返り
2週目	MCを考える（ステージ・ラジオなど）
3週目	実践・MC
4週目	前回の振り返り・フィードバッグ
5週目	【質問力】インタビュー　大切なこと　聴く力が大事
6週目	【質問力】インタビュー　実践
7週目	【質問力】インタビュー・改善ポイント・フィードバック
8週目	【会話力】雑談力を磨く
9週目	【会話力】テーマを決めて対談
10週目	【実践】番組設定　構成案企画
11週目	【実践】番組録音
12週目	【実践】番組録音
13週目	後期まとめ
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習時間外学習	授業の際に、自分の感情や日々について自分の言葉で話す時間を設ける
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	今後、どのような立場であっても「わかるように自然に話す」ことは求めらます。「フリートーク」の授業を通して、自分の言葉で、自分の想いや考え、意志を伝えること、「話す力」を磨いていってください。

【使用教科書・教材・参考書】
アナウンス辞典、新聞、絵本、色彩心理カード、話し方参考文献

科目名（英）	英会話 GLOBAL COMMUNICATION	必修選択	必須	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	ダンス＆アクターズ科昼間I部・II部	授業形態	講義	総時間	60	開講区分	前期(半期)

【授業の学習内容】
日常生活の様々な場面で使える頻度の高いコミュニケーション英語を学ぶ。

【実務者経験】
・Jackson Abatemarco（ジャクソン・アバテマルコ）:日本では2018年よりお子様や高校生を対象に英語教授経験あり。
・Ceasar Rodriguez（シーザー・ロドリゲス）:2010年より企業や英会話教室などで幅広い年齢層に教授経験あり。

【到達目標】
様々な場面で出てくるトピックに関して、自信を持って話せるようになる。

授業計画・内容	
1回目	L. 1 授業計画の説明、プレテスト、初対面のあいさつ～お別れまでの会話が出来る。、プレテスト
2回目	L. 2 & 3 自己紹介、友人の紹介、パーソナルインフォメーションに関する一般的な質問に対する受け答えが出来る。
3回目	L. 5 & 6　好き・嫌い等の好みについての会話が出来る。
4回目	L. 8　意見を尋ねる/意見を述べる。お誘いを受けた際の返答が出来る。
5回目	L. 11 & 12　人を褒める＆褒められた際の会話表現。（衣服など）着ているものに関して述べることが出来る。
6回目	L. 7, 13, & 14　時間について表現する。日々の習慣について話す＆質問できる。
7回目	L. 19 & 20　道案内をする・場所を尋ねることが出来る。
8回目	L. 21 & 23　数やお金の数え方・価格や頻度についての質問や受け答えが出来る。
9回目	L. 28　料理の味や材料について＆レストランでのオーダーが出来るようになる。
10回目	L. 29 & 30　過去の出来事について話す＆質問できる。
11回目	L. 31　自分の体験について話す＆それに対するリアクションや返答が出来るようになる。
12回目	L. 32　週末や未来の予定について話すことが出来る。
13回目	総復習
14回目	本試験
15回目	試験返却、解説、ポストテスト
準備学習 時間外学習	事前に教科書を読んでおきましょう。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	皆さんは既にたくさんの英語を知っています。英語を話せるように、一緒に頑張りましょう！

【使用教科書・教材・参考書】
Speak Now1

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	演技演習A（Acting exercise A）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	ダンス＆アクターズ科 ・ 昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	実演	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】
1年間を通して、演者・表現者になるための基礎や考え方をシアターゲームなどを取り入れて徹底的に体に浸透させる。また、自己の演者・表現者としての目標やビジョンを、モノローグなどの自身と向き合う課題を通して明確化し、それぞれの持ち得る個性を引き出す。更に、演技の基本である受動を理解する為にダイアローグのテキストを通して他者との関わりを学んでいく。

【実務者経験】
桐朋学園大学短期大学部演劇専攻を卒業後、神戸の劇団・劇団赤鬼へ入団。2008年より座長として主演や作品制作・運営を行う。劇団公演以外にも、商業舞台・プロデュース公演・在京劇団へのゲスト出演も頻繁に参加。年間に10本以上の公演を行うこともあり、現在までにおよそ30万人近くの観客の前で舞台に立ち、経験と実績を重ねてきた。芸能事務所ルートにも所属。映画やドラマなどにも出演。芸能事務所や養成所の講師としても活動。10代から60代まで幅広く、数多くの生徒の指導にあたってきた。

【到達目標】
演じるという事への思考・考え方のアプローチを手に入れ、役を演じる際に必要な身体を身につける。これから先、表現者として生きる人生の指針となる自分自身の核を模索し育てる。自分自身の個性と他者との協調性、演技を行う上でとても重要なこの相反する二つを課題を通して手に入れてもらう。

授業計画・内容	
1週目	ガイダンス　1年を通しての目標を設定
2週目	感情解放①　シアターゲームなどを通してリラックス状態をつくる
3週目	感情解放②　シアターゲームなどを通してリラックス状態をつくる
4週目	集中力養成①
5週目	集中力養成②
6週目	自身と向き合う①　自分を構成している物を知る
7週目	自身と向き合う②　自身の探求と役作りの探求が同様である事を知る
8週目	自身と向き合う③　小作品作りのテーマを探す
9週目	自身と向き合う④　小作品の台本を自身で作成する
10週目	自身と向き合う⑤　小作品の台本を自身で作成する
11週目	自身と向き合う⑥　小作品を仕上げる
12週目	テスト　小作品発表
13週目	まとめ
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	小作品作成の為の、資料集めや取材など。自分自身と向き合う時間を取ってもらう。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	学校生活の中で、様々な自分の可能性・夢・目標を見つけていく事と思いますが、この演技演習Aでは、全ての表現に繋がる

【使用教科書・教材・参考書】
なし

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	演技演習A (Acting exercise A)	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	ダンス＆アクターズ科 ・ 昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	実演	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】
1年間を通して、演者・表現者になるための基礎や考え方をシアターゲームなどを取り入れて徹底的に体に浸透させる。また、自己の演者・表現者としての目標やビジョンを、モノローグなどの自身と向き合う課題を通して明確化し、それぞれの持ち得る個性を引き出す。更に、演技の基本である受動を理解する為にダイアローグのテキストを通して他者との関わりを学んでいく。

【実務者経験】
桐朋学園大学短期大学部演劇専攻を卒業後、神戸の劇団・劇団赤鬼へ入団。2008年より座長として主演や作品制作・運営を行う。劇団公演以外にも、商業舞台・プロデュース公演・在京劇団へのゲスト出演も頻繁に参加。年間に10本以上の公演を行うこともあり、現在までにおよそ30万人近くの観客の前で舞台に立ち、経験と実績を重ねてきた。芸能事務所ルートにも所属。映画やドラマなどにも出演。芸能事務所や養成所の講師としても活動。10代から60代まで幅広く、数多くの生徒の指導にあたってきた。

【到達目標】
演じるという事への思考・考え方のアプローチを手に入れ、役を演じる際に必要な身体を身につける。これから先、表現者として生きる人生の指針となる自分自身の核を模索し育てる。自分自身の個性と他者との協調性、演技を行う上でとても重要なこの相反する二つを課題を通して手に入れてもらう。

授業計画・内容	
1週目	ガイダンス　前期の振り返りと後期の目標設定
2週目	アンサンブル①　他者、共演者との調和を取れるようにする
3週目	アンサンブル②　他者、共演者との調和を取れるようにする
4週目	ダイアローグ①―1　　会話・対話に主をおいた作品を即興演技で作り上げる
5週目	ダイアローグ①―2　　会話・対話に主をおいた作品を即興演技で作り上げる
6週目	ダイアローグ①―3　　会話・対話に主をおいた作品を即興演技で作り上げる
7週目	ダイアローグ①―4　　会話・対話に主をおいた作品を即興演技で作り上げる(発表)
8週目	ダイアローグ②―1　少人数作品を発表に向けて題材を選ぶ
9週目	ダイアローグ②―2　少人数作品を発表に向けて作り上げる
10週目	ダイアローグ②―3　少人数作品を発表に向けて作り上げる
11週目	ダイアローグ②―4　少人数作品を発表に向けて作り上げる
12週目	テスト　作品発表
13週目	まとめ
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	ダイアローグ、会話・対話の演技成熟の為に、日常の会話に目を向け、心に残る会話は記録をする。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	学校生活の中で、様々な自分の可能性・夢・目標を見つけていく事と思いますが、この演技演習Aでは、全ての表現に繋がる基礎を手に入れましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
なし

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	演技演習B（Acting exercise B）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	ダンス＆アクターズ科 ・ 昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	実演	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】
自分自身の身体・感情、声を見つめ、身体トレーニング（コーディネーショントレーニング）や発声練習や、滑舌練習などを行い、自分自身の声の表現の幅を広げていく。また、キャラクターの感情を獲得するには、事前にどのような準備が必要なのかを考えていく。
※コーディネーショントレーニング・・・「定位」「識別」「反応」「変換」「連結」「リズム」「バランス」の7つの要素からなる、身体の基礎とレーニング。

【実務者経験】
大学在学中に劇団を立ち上げ、以降18年に渡り、90本以上の舞台作品に関わる。その傍ら、後進の指導に携わる。
自分自身の身体・感情・声を見つめ、自分にしか出来ない表現を見つけることを主に指導していく。

【到達目標】
自分の「声」の性質を知り、その「声」を使って様々な作品の様々なキャラクターを演じようと思う気持ちを育む。
また、舞台本番時においては、事前の準備をし、万全の体調、万全の精神で挑めるような、健全な身体になる。

授業計画・内容	
1週目	年間ガイダンス_授業の方針、手段、到達点を述べます。
2週目	声の種類_自分の声にはいくつもの種類があることに気づきます。
3週目	身体の種類_自分の身体の動かし方にはいくつもの種類があるこに気づきます。
4週目	会話の種類_自分が話しかける「相手」の種類に気づきます。
5週目	サブテキスト_台詞の言葉だけにとらわれず、気持ちを考えられるようになります。
6週目	感情の種類_キャラクターの感情には様々なの種類の感情があることに気づきます。
7週目	台本演習①_台本を使って、用語などの説明をします。
8週目	台本演習②_台本を使って、舞台上での動き方を理解します。
9週目	台本演習③_台本を使って、キャラクターの感情を表現していきます。
10週目	本番練習①_テキストを上演にまでもって行きます。（本読み）
11週目	本番練習②_テキストを上演にまでもって行きます。（立ち稽古）
12週目	本番練習③_テキストを上演にまでもって行きます。（通し稽古）
13週目	テスト_授業内本番
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	その日行う課題（例えば、発声練習）は、授業のときだけするためには行っていません。授業の中には、「やり続ける」課題が、いっぱいあります。（例えば、万全な体調、滑舌練習など）それらを、いつも行うようにしてください。 そして、授業の日にも行いましょう。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	1回の授業で「とてつもない」ことを成し遂げようとするのではなく、小さなことの積み重ねでしか、「とてつもない」ことは起こらないと思っててください。 上手にしようと考えなくて大丈夫です。何かが出来るために、何をするのかを一緒に考えていきたいと思います。

【使用教科書・教材・参考書】
発声練習・1回目の授業で配布。
それ以降のテキスト・台本は、授業ごとに随時配布。
コーディネーショントレーニングに関しては、授業毎に行う。

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	演技演習B（Acting exercise B）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	ダンス＆アクターズ科 ・ 昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	実演	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】
自分自身の身体・感情、声を見つめ、身体トレーニング（コーディネーショントレーニング）や発声練習や、滑舌練習などを行い、自分自身の声の表現の幅を広げていく。また、キャラクターの感情を獲得するには、事前にどのような準備が必要なのかを考えていく。
※コーディネーショントレーニング・・・「定位」「識別」「反応」「変換」「連結」「リズム」「バランス」の7つの要素からなる、身体の基礎とレーニング。

【実務者経験】
大学在学中に劇団を立ち上げ、以降18年に渡り、90本以上の舞台作品に関わる。その傍ら、後進の指導に携わる。
自分自身の身体・感情・声を見つめ、自分にしか出来ない表現を見つけることを主に指導していく。

【到達目標】
自分の「声」の性質を知り、その「声」を使って様々な作品の様々なキャラクターを演じようと思う気持ちを育む。
また、舞台本番時においては、事前の準備をし、万全の体調、万全の精神で挑めるような、健全な身体になる。

授業計画・内容	
1週目	前期の復讐①_発声練習、サブテキスト、会話の種類。
2週目	台本研究①-1_日本の戯曲より選び役の心情を考える。
3週目	台本研究①-2_日本の戯曲より選び役の心情を考える。
4週目	台本研究②-1_海外の戯曲を扱い、応用演技を学ぶ。
5週目	台本研究②_2_海外の戯曲を扱い、応用演技を学ぶ。
6週目	台本研究②-3_海外の戯曲を扱い、応用演技を学ぶ。
7週目	台本研究③-1_コントの台本を扱い、テンポ・リズムを意識した演技を行う。
8週目	台本研究③-2_コントの台本を扱い、テンポ・リズムを意識した演技を行う。
9週目	台本研究③-3_コントの台本を扱い、テンポ・リズムを意識した演技を行う。
10週目	本番練習①_テキストを上演にまでもって行きます。（本読み）
11週目	本番練習②_テキストを上演にまでもって行きます。（立ち稽古）
12週目	本番練習③_テキストを上演にまでもって行きます。（通し稽古）
13週目	テスト_授業内本番
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	その日行う課題（例えば、発声練習）は、授業のときだけするためには行っていません。授業の中には、「やり続ける」課題が、いっぱいあります。（例えば、万全な体調、滑舌練習など）それらを、いつも行うようにしてください。 そして、授業の日にも行いましょう。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	1回の授業で「とてつもない」ことを成し遂げようとするのではなく、小さなことの積み重ねでしか、「とてつもない」ことは起こらないと思っててください。 上手にしようと考えなくて大丈夫です。何かが出来るために、何をするのかを一緒に考えていきたいと思います。

【使用教科書・教材・参考書】
発声練習・1回目の授業で配布。
それ以降のテキスト・台本は、授業ごとに随時配布。
コーディネーショントレーニングに関しては、授業毎に行う。

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	演技制作1 (Acting production 1)	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	ダンス＆アクターズ科 ・ 昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	実演	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】
年間を通して、作品制作に取り組む。演者としてのみの取り組みだけではなく、作品企画のスタートアップから、宣伝美術や、広報なども実際にどうやって進めていくのかも、外部の講師を招聘して講義を行ってもらい総合的に作品制作を行う。

【実務者経験】
桐朋学園大学短期大学部演劇専攻を卒業後、神戸の劇団・劇団赤鬼へ入団。2008年より座長として主演や作品制作・運営を行う。劇団公演以外にも、商業舞台・プロデュース公演・在京劇団へのゲスト出演も頻繁に参加。年間に10本以上の公演を行うこともあり、現在までにおよそ30万人近くの観客の前で舞台に立ち、経験と実績を重ねてきた。芸能事務所ルートにも所属。映画やドラマなどにも出演。芸能事務所や養成所の講師としても活動。10代から60代まで幅広く、数多くの生徒の指導にあたってきた。

【到達目標】
演劇作品の舞台公演に向けて、企画から公演発表までを体感することにより、多角的に演技について捉えることが出来る感性・考え方・アプローチ方法を手に入れてもらう。

授業計画・内容	
1週目	ガイダンス　1年を通しての目標を設定
2週目	舞台鑑賞①　舞台作品DVD鑑賞や観劇を通し、多種多様な演技方法を知る。
3週目	テキスト演習①　舞台鑑賞で観劇したジャンルのテキストを用いて演技をしてみる
4週目	現場の声を聞く①　ゲスト講師を招いて、舞台や様々な現場で求められる声を聞く
5週目	舞台鑑賞②　舞台作品DVD鑑賞や観劇を通し、多種多様な演技方法を知る。
6週目	テキスト演習②　舞台鑑賞で観劇したジャンルのテキストを用いて演技をしてみる
7週目	現場の声を聞く② ゲスト講師を招いて、舞台や様々な現場で求められる声を聞く
8週目	舞台鑑賞③　舞台作品DVD鑑賞や観劇を通し、多種多様な演技方法を知る。
9週目	テキスト演習③　舞台鑑賞で観劇したジャンルのテキストを用いて演技をしてみる
10週目	現場の声を聞く③ ゲスト講師を招いて、舞台や様々な現場で求められる声を聞く
11週目	テキスト選定　自分自身に適したテキストを選び、役の人物を演じてみる
12週目	テスト　自身で選んだテキスト作品の発表
13週目	まとめ
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	劇場での舞台作品観劇や、映画館や自宅での映像作品の鑑賞機会を増やし、表現者として常に作品と触れ合える日常環境に
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	年間を通して、作品制作を行っていく事により、表現との関わり方を見つけてください。

【使用教科書・教材・参考書】
なし

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	演技制作1（Acting production 1）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	ダンス＆アクターズ科 ・ 昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	実演	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】
年間を通して、作品制作に取り組む。演者としてのみの取り組みだけではなく、作品企画のスタートアップから、宣伝美術や、広報なども実際にどうやって進めていくのかも、外部の講師を招聘して講義を行ってもらい総合的に作品制作を行う。

【実務者経験】
桐朋学園大学短期大学部演劇専攻を卒業後、神戸の劇団・劇団赤鬼へ入団。2008年より座長として主演や作品制作・運営を行う。劇団公演以外にも、商業舞台・プロデュース公演・在京劇団へのゲスト出演も頻繁に参加。年間に10本以上の公演を行うこともあり、現在までにおよそ30万人近くの観客の前で舞台に立ち、経験と実績を重ねてきた。芸能事務所ルートにも所属。映画やドラマなどにも出演。芸能事務所や養成所の講師としても活動。10代から60代まで幅広く、数多くの生徒の指導にあたってきた。

【到達目標】
演劇作品の舞台公演に向けて、企画から公演発表までを体感することにより、多角的に演技について捉えることが出来る感性・考え方・アプローチ方法を手に入れてもらう。

授業計画・内容	
1週目	ガイダンス 前期の振り返りと後期の目標設定
2週目	舞台作品創作① 舞台作品のテーマ・脚本選び
3週目	舞台作品創作② 舞台公演に向けての宣伝・制作
4週目	舞台作品創作③ 舞台公演に向けて作品をつくりあげる
5週目	舞台作品創作④ 舞台公演に向けて作品をつくりあげる
6週目	舞台作品創作⑤ 舞台公演に向けて作品をつくりあげる
7週目	舞台作品創作⑥ 舞台公演に向けて作品をつくりあげる
8週目	舞台作品創作⑦ 舞台公演に向けて作品をつくりあげる
9週目	舞台作品創作⑧ 舞台公演に向けて作品をつくりあげる
10週目	舞台作品創作⑨ 舞台公演に向けて作品をつくりあげる
11週目	舞台作品創作⑩ 舞台公演に向けて作品をつくりあげる
12週目	テスト 舞台作品の仕上げ
13週目	まとめ
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習時間外学習	舞台公演に向けて、常にテキストや役と向き合う環境を自ら制作する。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	年間を通して、作品制作を行っていく事により、表現との関わり方を見つけてください。

【使用教科書・教材・参考書】
なし

科目名（英）	音楽史（Music History）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	ダンス＆アクターズ科昼間I部・II部	授業形態	講義	総時間	60	開講区分	前期(半期)

【授業の学習内容】 コムグルームのOSMで20年近くに渡り音楽史を教えたノウハウをもとに、講義の中では事例としてアーティストの楽曲を聴くだけでなく、ライブ動画やPVなども豊富にプロジェクションすると共に、ニュース映像も紹介することから、時代背景と共にポピュラーミュージックの歴史を学ぶ。

【実務者経験】幼少期から小学生時代にかけてピアノやトランペットなど多くの楽器に触れ、中高生時代を通じ独学で作曲活動を始める。1993年3月大阪芸術大学音楽学科卒業後、1995年3月武庫川女子大学大学院修士課程を修了。1998年プライヴェート・オフィス・ミニスタジオを設立し、2009年法人化。在学中からファッションショーの音楽制作をはじめ、株式会社フェイスのベンチャー・スタッフとしてゲームやCMなどの商業音楽も数多く手掛ける。一方では、サウンドアーティストとして美術館やギャラリーなどで多くの現代音楽家・現代美術家らと共演、自らの作品も発表する。テクノバンド“A.C.E.”、“EP-4 unitP”“salbattle”などでは、海外ツアーも経験。現在はラジオ関西やFM MOOVでも音楽カルチャー番組を手掛けるなど、その活動は多方面に及ぶ。

【到達目標】 本授業を学ぶことにより、卒業後に業界団体に携わる際、最低限必要となる一般的な音楽知識を身につけることが到達目標である。

授業計画・内容	
1週目	●2010年代から過去へと遡り、現在のヒットチャートに直接関係する原点を探る。
2週目	1940年代～ ●ラジオの普及とメディアの発達など。 〇ロックンロール
3週目	1950年代～ 〇サーフ&ホットロッド 〇アイドルポップ 〇ソウル
4週目	1960年代～ ●公民権運動など 〇フォークとブリティッシュビート、フォークロック ●スタジオ技術の発展とPA機器の発達 〇サイケデリックロックとアートロック
5週目	1970年代～ ●音楽産業発展の時代 〇フレンチポップ 〇プログレッシブロック 〇モッズ 〇グラムロック 〇パブロック 〇ファンク～ディスコ
6週目	1970年代～ 〇シンガーソングライターとAOR 〇サザンロックとウェストコースト 〇ハードロックとブルースロック 〇ヘヴィメタル（～2000年代）
7週目	1970年代～ ●アンダーグラウンドシーンの登場 〇パンク～ニューウェイブ 〇レゲエ～ダブ ●音楽とファッション
8週目	1980年代～ ●音楽スタジオと電子機材 〇エレクトロニックポップとテクノポップ ●新しいブラックミュージックの登場 〇ブラックコンテンポラリー 〇エレクトロニックファンク～ヒップホップ ●MTVとスーパースター
9週目	1990年代～ ●クラブミュージックの隆盛 〇アシッドジャズ 〇マッドチェスター 〇テクノ 〇ヒップホップ～R&B
10週目	1990年代～ ●オルタナティブシーン 〇グランジ 〇ミクスチャー 〇ラウドロック 〇ハードコア～メロディックコア 〇ヘビーロック 〇インダストリアル
11週目	2000年代～ ●ロックミュージックの新たな地平 〇ポストロック 〇ニューウェイブリバイバル、など
12週目	2010年代～ 現在のアーティストを中心に
13週目	●音楽とボランティア、社会活動～フェスティバルの開催、など、について
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	日常的に耳にしている音、音楽を意識的に聴くことにより、その音楽のバックグラウンドやルーツと関連付けられる習慣を身につける訓練をする。
評価方法	毎回授業に出席しているか（出席率）。講師の質問に受け答えができるか、また授業態度は適切か（平常点）、など。これらを軸に評価付けするものとする。
受講生へのメッセージ	興味のないジャンルや時代の紹介であっても居眠りはしない。ましてや私語により周囲へ迷惑をかけることは慎むこと。リラックスして「音」を「楽」むことから、自分にとって僅かでも新たな音楽との出会いになりますように。

【使用教科書・教材・参考書】 本学指定のテキストを使用。

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	発声・滑舌 (Voice production Voice production)	必修選択	必須	年次	1年次	担当教員	
		授業形態	講義・実演	総時間	60	開講区分	前期
学科・コース	ダンス＆アクターズ科 ・ 昼間Ⅰ部・Ⅱ部						

【授業の学習内容】
実際の現場での直結する基礎技術を高める為のレッスン

【実務者経験】
放送児童劇団に所属。子供服の広告や再現ドラマ、中学生日記などに出演。
関西歌劇団に合格し、内外で多数のオペラに出演。オペラ以外にも各種コンサートへの出演、映画やCM、司会、テーマパークでのショー出演、ミュージカルや演劇ではヒロインを演じるなど精力的に活動

【到達目標】

基礎力を得る事で、自信がつき、何事にもチャレンジし楽しめる力をつけたい。

授業計画・内容	
1週目	自己紹介～人に伝える様に喋るという事～距離感や空間～他を紹介～半年の流れ説明
2週目	肺・気道・声帯・舌根・軟口蓋・胸腔鼻腔などの仕組み～ブレスコントロール・声のポジション～
3週目	2週目でやった事を使って響かせた声での台詞練習(3種の台本を色々なキャラクターで)
4週目	ブレスとポジションの基礎レッスン～滑舌レッスン「あめんぼ」～母音と子音 あいうえお いうえおあ…
5週目	ブレスとポジションの基礎レッスン～「あめんぼ」覚えて～ニュースキャスターション
6週目	ブレスとポジションと母音と子音の基礎レッスン～「外郎売り」前半
7週目	ブレスとポジションと母音と子音の基礎レッスン～「外郎売り」後半
8週目	ブレスとポジションと母音と子音の基礎レッスン～「外郎」覚えて～台詞の音程
9週目	ブレスとポジションと母音と子音の基礎レッスン～歌のジャンル別の発生(クラシック･ポップス･ミュージカル)
10週目	ブレスとポジションと母音と子音の基礎レッスン～歌のジャンル別の発生の仕方(クラシック･ポップス･ミュー
11週目	10回のレッスンでやった事が全て生かせるオリジナル台本の1人ミュージカル(10分程度)のレッスン①
12週目	10回のレッスンでやった事が全て生かせるオリジナル台本の1人ミュージカル(10分程度)のレッスン②
13週目	発表会(試験)
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	「あめんぼ」「外郎売り」を どんなものか各自調べておいてほしいです。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	レッスンや練習が苦しいこと、辛いことになると続かないから、いかにエンジョイしながら習得できるかがポイント！

【使用教科書・教材・参考書】
都度でプリントをコピーしたいと思います。

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	発声・滑舌 （Voice production Voice production）	必修選択	必須	年次	1年次	担当教員	
		授業形態	講義・実演	総時間	60	開講区分	後期
学科・コース	ダンス＆アクターズ科 ・ 昼間Ⅰ部・Ⅱ部						

【授業の学習内容】
実際の現場での直結する基礎技術を高める為のレッスン

【実務者経験】
放送児童劇団に所属。子供服の広告や再現ドラマ、中学生日記などに出演。
関西歌劇団に合格し、内外で多数のオペラに出演。オペラ以外にも各種コンサートへの出演、映画やCM、司会、テーマパークでのショー出演、ミュージカルや演劇ではヒロインを演じるなど精力的に活動

【到達目標】
基礎力を得る事で、自信がつき、何事にもチャレンジし楽しめる力をつけたい。

授業計画・内容	
1週目	肺・気道・声帯・舌根・軟口蓋・胸腔鼻腔などの仕組み～ブレスコントロール・声のポジション～応用
2週目	肺・気道・声帯・舌根・軟口蓋・胸腔鼻腔などの仕組み～ブレスコントロール・声のポジション～応用
3週目	肺・気道・声帯・舌根・軟口蓋・胸腔鼻腔などの仕組み～ブレスコントロール・声のポジション～応用
4週目	2週目でやった事を使って響かせた声での台詞練習
5週目	ブレスとポジションレッスン応用
6週目	ブレスとポジションレッスン応用
7週目	ブレスとポジションと母音と子音のレッスン応用
8週目	ブレスとポジションと母音と子音のレッスン台詞練習
9週目	ブレスとポジションと母音と子音のレッスン台詞練習
10週目	9回のレッスンでやった事が全て生かせるオリジナル台本の1人ミュージカル(20分程度)のレッスン①
11週目	9回のレッスンでやった事が全て生かせるオリジナル台本の1人ミュージカル(20分程度)のレッスン②
12週目	9回のレッスンでやった事が全て生かせるオリジナル台本の1人ミュージカル(20分程度)のレッスン③
13週目	発表会(試験)
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	レッスンや練習が苦しいこと、辛いことになると続かないから、いかにエンジョイしながら習得できるかがポイント！

【使用教科書・教材・参考書】
都度でプリントをコピーしたいと思います。

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	舞台演技1 (Stage performance 1)	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	ダンス＆アクターズ科 ・ 昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	実演	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】
リアリズムの演技法を身に着ける。テキストを的確に読解し、解釈したうえで、表面的・説明的な演技ではなく、真の感情を持って、「役を生きる」ための演技技術の習得のための訓練。

【実務者経験】
1996年、自らの劇団「スクエア」を旗揚げる。以後、劇団の演出家であり、また看板俳優として全公演に出演、リーダーを務める。また同劇団は関西屈指のコメディ劇団として高い評価を得ている。
また、役者として、文学的作品からエンターテイメント作品まで、幅広い出演の依頼があり、さまざまなキャラクターを演じられる俳優として評価を得ている。
リアルで緻密な劇づくりと笑いやエンターテイメント性を兼ね備えた演出家としても、活躍している。

【到達目標】
台本の内容を理解し、演技を構成する感覚と能力を身につける。
自然でわざとらしくない演技ができる。

授業計画・内容	
1週目	自己紹介/身体訓練/感情訓練　宿題テキスト「オーディション控室」
2週目	寝台訓練/感情訓練/再syの実習テスト「オーディション控室」
3週目	閉経・状況の把握と表現「オーディション前」
4週目	エチュードレッスン1(ナチュラリズム、現実感、設定内での感情・気分を得る感覚)
5週目	同上2
6週目	セリフ・動作の把握　実習テキスト「ニフ」
7週目	同上2
8週目	同上3
9週目	同上4
10週目	台本理解と表現力1　実習テキスト「まんじりともせず」
11週目	同上2
12週目	同上3
13週目	同上4
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	一緒にがんばりましょう

【使用教科書・教材・参考書】
なし

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	舞台演技1 (Stage performance 1)	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	ダンス＆アクターズ科 ・ 昼間Ⅰ部・Ⅱ部	授業形態	実演	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】
リアリズムの演技法を身に着ける。テキストを的確に読解し、解釈したうえで、表面的・説明的な演技ではなく、真の感情を持って、「役を生きる」ための演技技術の習得のための訓練。

【実務者経験】
1996年、自らの劇団「スクエア」を旗揚げる。以後、劇団の演出家であり、また看板俳優として全公演に出演、リーダーを務める。また同劇団は関西屈指のコメディ劇団として高い評価を得ている。
また、役者として、文学的作品からエンターテイメント作品まで、幅広い出演の依頼があり、さまざまなキャラクターを演じられる俳優として評価を得ている。
リアルで緻密な劇づくりと笑いやエンターテイメント性を兼ね備えた演出家としても、活躍している。

【到達目標】
登場人物の背景や目的を理解し、舞台上で濃密な時間が表現できる技術と感覚を身に着ける。
登場人物の固有性を理解し、その性質を表現する。

授業計画・内容	
1週目	サブテキストレッスン1　使用テキスト「浮気の現場」
2週目	同上2
3週目	登場人物の目的と性質1 実習テキスト「『逃げ水』より」
4週目	同上2
5週目	同上3
6週目	実習コメディを演じる1 「ミヤとヤス」
7週目	同上2
8週目	同上3
9週目	同上4
10週目	実習ドラマを演じる1 「田舎のあぜ道」
11週目	同上2
12週目	同上3
13週目	台本の構成の把握と、想像力のあふれる表現 「オーディション控室」
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	一緒にがんばりましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
なし